

## 床暖房対応フローリングと非対応フローリングの違い

床暖房対応フローリングとは、無垢材に限りですが含水率を低くすることで寸法安定性を高めた製品が床暖房対応商品として扱われています。

通常のフローリングは、含水率8～12%で製造されており乾燥や湿気に対して、木が水分を吸ったり、吐き出したりの膨張縮小を繰り返します。その反面、床暖房では、強制的に床を温めるため無垢材に対して極端に乾燥が進み木の伸縮が大きくなってしまう場合があります。

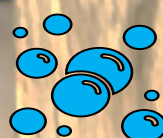
### ナラ床暖対応



含水率  
4～5%



### ナラ床暖非対応



含水率  
10%前後



弊社で取り扱いの床暖房対応製品は予め含水率を4～5%まで低く製造することによって伸縮を抑え床暖房での利用を可能にし、さらに裏面の加工によりソリなどを軽減しています。ただし天然の木材を使用している為、完全に収縮を抑えたと言い切れる製品ではありません。詳しくは弊社営業担当者までお問い合わせ下さい。

**床暖房フローリングご使用の際は、天然木の無垢フローリングである事をお施主様の理解を得たうえで施工して下さい。**

